

# 協力

69



伝道団体連絡協議会

〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室  
Tel. 03-3291-5035  
www.dendankyo.com

## FRONT ESSAY

### 「協力関係」

昨年、プロテスタント宣教150周年を迎え、また、第5回日本伝道会議も開催されました。しかしいま、日本のキリスト教界は、2極現象の中にあると言われています。それは、一方では、大変祝福された活動をしている教会がある反面、他方では、いきづまり状態の中で足踏みしている教会が多いということです。日本の福音化、リバイバルが叫ばれてきましたが、その道筋はなかなか見えてきていないのが現状です。しかしこのままであってよいとは誰も考えていないでしょう。

昨年の日本伝道会議では、このような時こそ、自分の教会、自分の教団教派を超えた協力体制が必要ではないかと訴えられました。これは、ただ、教会や教団教派だけではなく、伝団協に加わっているパラチャーチと言われる働きでも必要なことではないかと思えます。

たとえば、私が関わっているアジアアクセスJCGIネットワークはその活動の一つとして、教会開拓に携わっている教会の、励まし合いのネットワークを提案し、これまで全国各地の20地域で実施してきています。しかし、教会開拓に関心を持ち、それに関連した活動をしている団体は、日本国内に他にも多くあると聞いております。宣教師の団体であるJEMAが主催するCPI（開拓伝道研修会）には、JCGIネットワークも参加し協力していますが、それ以外の団体とはほとんど連携がありません。

1億2千万人を超す日本の福音化のためには、現在の7千余の教会では、少なすぎます。もっと多くの教会が開拓されなければなりません。しかし、多くの教会は現在の活動を維持するのに精一杯で、なかなか教会開拓に踏み出すことに躊躇しています。しかし、聖書の原則は、教会が教会を生み出すことであると、私たちは確信しています。そこで、JCGIネットワークでは、既存のそれぞれの教会が、新しく教会を開拓しやすいように、励ましのネットワークを形成して、教会開拓にチャレンジすることを呼びかけています。現在は、北海道、東北、関東、関西、九州、沖縄でネットワークが形成されて、各地の教会が教会開拓に取り組んでいます。

もし教会開拓に関連した活動をしている諸団体が、互いに、情報交換を密にして、連携を保って活動していくことができれば、さらに教会開拓が前進し、かならず日本の教会の閉塞状態が打破できると思えます。



川崎 廣

(アジアアクセス、  
JCGIネットワーク総主事)

2010年度

# 伝道団体連絡協議会 研修会のお知らせ

主の御名を讃美いたします。

各団体に於いては、日々主にある働きに励んでおられることと思います。

この度、伝団協では下記のように研修会を企画しました。奮ってご参加ください。

- テーマ: 「**高齢化社会における諸問題**」
- 日 時: 2010年 10月15日 (金) 13:30 ~ 20:30
- 場 所: 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 講 師: 中島直樹氏 (社会福祉法人 キングス・ガーデン 東京理事  
特養老人ホーム 練馬キングス・ガーデン 施設長)
- 参加費: 1,000円 (セッション参加者、当日受付にてお支払い下さい)  
~~~~~ ※公開セミナーは無料です (席上献金があります) ~~~~~
- 申込先: 伝道団体連絡協議会事務局  
Tel. 03-3291-5035 Fax. 03-3291-5266  
Email: info@dendankyo.com
- 研修会担当: 浅見鶴蔵宅 Tel & Fax 045-562-0093  
~~~~~ ※準備の都合上、早めにお申込みください。 ~~~~~

## タイムテーブル

|               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 13:30 ~ 14:00 | 開会礼拝                  |
| 14:00 ~ 17:30 | セッションI・II ブレイク 質疑応答など |
| 17:30 ~ 19:00 | 夕食 (各自センター内にて)        |
| 19:00 ~ 20:30 | 公開セミナー (席上献金あり)       |

## 推薦の言葉

日本は世界に例を見ない勢いで高齢化社会を迎え、老いをどのように生きるのか、老いた両親の介護をどのようにするのか、避けて通ることのできない大切な問題です。私たちは他人事としてではなく、自らの問題として考えなければなりません。練馬キングス・ガーデン施設長の中島直樹君は、生活相談員主任として、長年介護の働きに直接的に携わってきました。伝団協の研修会の講師に、最も相応しい方であり、心から推薦します。

(日本キングス・ガーデン連合会長 泉田 昭)

## ● 伝団協 加盟団体の紹介！ ●●●●●●●●●●●●



### 国際ナビゲーター

http://www.navigators-japan.com/

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル4F  
Tel. 03-3295-0146 Fax. 03-3219-2840

**国** 際ナビゲーターの働きは、1933年、米国人のドーソン・トロットマン氏によって始められ、1951年に宣教師によって日本に伝えられました。その働きの特徴は、信じた者をキリストの弟子として育てるところにあります。今日では、既に日本の諸教会や伝道団体で取り入れられている弟子造り宣教ですが、そのはしりとしての働きは、1964年に東京および神戸の大学生・社会人を対象としてスタートしました。それは、個人伝道によって人々をキリストに導き、キリストに似た者となるように成長を助け、その人が他の人々をキリストに導き助けられるように、個人的に生活を通して指導していくものでした。現在では、札幌から福岡に至る8つの地域で大学生や社会人（卒業生・ビジネスマン・家族・退職者）への宣教が進められています。

今日の宣教の特徴は、信仰者としてのライフスタイルを通して「あなたが今いるそのところで」生きることを大切にすることです。即ち、日本社会の職場や地域やキャンパスや家族の只中で、神の国の価値観に生きる「インサイダー」を育てることを目標にしています。その内容は「福音のためのインサイダー」（国際ナビゲーター出版）の本に詳しく書かれています。今後は以下の3つを強調していきます。

- ・純粋な福音の理解に努め、日本文化の本流の中で福音に生きる人を育てる
- ・神の国の前進のために教会に仕え、教会を生み出し、教会と協力しながら進める
- ・次世代のリーダーシップを育て、神のビジョンを共有し継承する

他の諸団体系や諸教会と共に、福音の前進のために協力できることを感謝します。



### 日本国際飢餓対策機構

http://www.jifh.org/

＜大阪事務所＞〒581-0032 大阪府八尾市弓削町3-74-1  
Tel.072-920-2225 Fax.072-920-2155

＜東京事務所＞東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号  
Tel.03-3518-0781 Fax.03-3518-0782  
他、愛知、広島、沖縄にもあります。

**日** 本国際飢餓対策機構 (Japan International Food for the Hungry:略してJIFH) は1981年に一人の日本人がインドシナ難民救援に参加したことを契機として誕生しました。以来、非営利の民間援助団体として世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合 (FHIF) の一員として、18ヶ国55の協力団体とともに、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、現地パートナーと「こころとからだの飢餓」にやる働きをしています。

昨年、国連は飢餓人口が10億人を超えたと発表しました。飢餓人口は減少ではなく、ますます拡大しています。いまま世界では、一日に2万5千人もの人々が生命を失っています。その内の7割は飢餓が起因でおこる下痢などの病気に対して抵抗力の弱い子どもたちです。飢餓は、人の肉体を破壊するだけでなく、そこに暮らす人々の生活に深刻な打撃を与えます。飢餓のために、社会、家族、人同士の信頼関係は崩壊し、人が人として生きる尊厳さえも奪われてしまいます。

日本国際飢餓対策機構は、貧困・飢餓に苦しむ方々に対して (1)「全人的にかかわる」こと、地域のリーダーと教会と家族に焦点を合わせた (2)「共同体のビジョン」(Vision of Community)、さらにキリストの使節として (3)「人を派遣する」を働きの三本柱にしています。今年7月1日、日本国際飢餓対策機構は、一般財団法人として新たな決意をもってスタートしました。そして厳しくなる飢餓との闘いのために、「ハンガー・ゼロ・アフリカ」運動を推進しています。深刻な食糧不足で大規模な飢餓の危機が迫っている西アフリカを中心とした食糧支援を柱とする活動を進めます。是非、このために祈りと財的なサポーターとなってください。





### ●アジア・アクセス JCGIネットワーク

JCGIネットワークでは、現在行われている西日本東海地区に加え、関東地区でも牧師研修が始まりました。また、全国の各地域で進行中の教会増殖ネットワークの働きのためにも引き続きお祈りください。

### ●いのちのこぼれ

「さあ、聖書も新しい時代へ」聖書がiPhoneアプリになって今夏発売。どこでも、いつでも読める手軽さと読む喜びをあなたに。新改訳聖書・リビングバイブル各3,000円(税込)用いられますようにお祈りください。

### ●クリスチャン文書伝道団

\*スタッフ、およびその家族の健康と霊性が守られるように。また、スタッフの高齢化が進んでいるなか、新たな働き人が、良い時に、良い器が与えられますように。

\*書籍の電子化の時代において、文書伝道の働きの新たなビジョンが神さまから与えられ、その導きに歩んでいけるために、知恵と力が与えられますように。

\*文書伝道を通して、一人でも多くの魂が救われるように。

\*今、この時代だからこそ、日本の教会にリバイバルが来ますように。

### ●国際ナビゲーター

学生宣教では、各地区でサマーキャンプを計画しています。学生の中から救われる魂が与えられますように。また、コミュニティでは、8月中旬に那須高原で行われる「インサイダーの集い」リトリートのために。

### ●新生宣教団

近年在日外国人の方が増えていることはご存知かと思います。特に規制緩和の影響で中国の方が増えてきています。新生宣教団では、国内でも各国語聖書を提供できるように準備を進めています。働きがスムーズに行きますようぜひお祈りください。

### ●全日本リバイバルミッション

9月19日(土)～20日(日)東北リバイバルミッションNorth(岩手県盛岡市)と9月22日(水)～23日(木)東北リバイバルミッションsouth(宮城県名取市)、この二つの大会の祝福のためにお祈りください。

### ●総動員伝道

\*8月7日～13日 勿来キリスト教会周辺 トラクト配布伝道

\*8月30日～9月1日 ヨナ祈禱聖会(御殿場 東山荘)

\*9月6日～10日、27日～10月1日 中山道歩いて伝道

以上のために60万円の経費がかかります。

参加者と経済のためにお祈りください。これらの企画が主に用いられるように。

### ●PBA・太平洋放送協会

PBAは2011年に創立60周年を迎えますが、記念事業の一環として2010年10月「羽鳥明メッセージセレクション」を発売します。羽鳥明牧師が1980年代にラジオ番組「世の光」で語ったメッセージから厳選した5枚組のCDです。伝道のために用いられますように。

### ●日本聖書協会

聖書を薦めることは伝道の一步。伝団協加盟すべての方にお願います。親、兄弟、縁者親類、知人、友人に「聖書を読みましよう」と声をおかけ下さい。

### ●ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

\*ハーベスト聖書塾で学ぶ次世代のリーダーたちのために。

\*リニューアル中のハーベストタイムのウェブサイトが日本人の方々のニーズに応えるものとなるように。

### ●B.F.P. Japan

ユダヤ人とクリスチャンの間に平和の架け橋が更に強く築かれるように。とりなしの祈り「ハイナイト」の働きが日本全国の教会に広がり教会の祝福となるように。

## 2010年度 伝団協役員紹介

4月23日(金)伝団協総会にて選出され、承認されました。

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 会 長   | ： 姫井 雅夫(総動員伝道)    |
| 総 務   | ： 岡本 信久(プレイズ出版)   |
| 会 計   | ： 辻岡 健象(小さな命を守る会) |
| 研 修   | ： 浅見 鶴蔵(総動員伝道)    |
| 書 記   | ： 池田 克久(日本聖書協会)   |
| 機関誌印刷 | ： 国井 昌光(新生宣教団)    |
| 機関誌発送 | ： 鈴木 優子(キリスト伝道会)  |

## 『協力』69号

発行日：2010年7月23日

発行所：伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室

TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com

発行者：姫井雅夫

印刷：新生宣教団(1,000部)